

変革の時代における肥料の役割

チッソ旭肥料株式会社

常務取締役 浜 園 佳 文



新年明けましておめでとうございます。
平成18年の年頭にあたり日頃よりご愛読頂いて
おります皆様方のご多幸とご繁栄をお祈り申し上
げます。

昨年、日本経済は「郵政民営化」「政府金融機
関の統廃合」等の変革の流れの中で回復基調を示
してきました。

農業生産においては、台風の上陸は少なかった
ものの一部地域では水害、酷暑、早魃等々影響も
少なからずありました。被災された皆様方には心
よりお見舞いを申し上げます。

さて、弊社の両・親会社の創業者である「野口
遵翁」が、九州の地で水と空気を原料として我が
国最初のカザレー法アンモニア合成に成功したの
が大正12年でありました。

爾来80年余り、現在世界では、天然ガス、LPG、
ナフサ等を原料としてアンモニアを製造しており
ます。

昨年は、アメリカの数度に亘るハリケーンの影響
で天然ガスも逼迫し、また米国でのエタノール
用トウモロコシの増産、インドの食料増産等でア
ンモニアの需給は逼迫しており、今後もこの騰勢
は続くものと思われます。一方では、鳥インフル
エンザの流行→鶏の処分→飼料の減→トウモロコ
シ余剰と影響も複雑且つグローバルになってきて
います。

更には、原油の高騰からくる各種資材の高騰、
燐鉱石、加里から微量元素に至るまでの天然資源
の騰勢は未だ例を見ない程です。

一方、日本の農業情勢は一段と厳しい状況にあ
ります。

こういう中で貴重な天然資源を如何に効率的に
有効に農業生産に寄与させていくのか、が私共肥
料に携わるものの命題ではないだろうか、と考え
ております。

弊社は上述の要請にも合致した、コーティング
肥料「LPコート®」「ロング®」を早くから開発・
販売して参りました。

関係諸先生から農家の皆様に至るまで、多くの
方々の応援を頂戴し、現場での普及と溶出制御技
術の向上に努めて参りました。今後も皆様のご要
望に応じるべく更なる向上に力を注いで参りたい
と存じます。

弊社は、前述のコーティング肥料の他に、肥効
調節型緩効性窒素肥料「ハイパーCDU®」、緩効
性窒素肥料「CDU®」、速効性泡状高度化成肥料
「あさひポーラス®」、打ち込み型根圏施肥肥料
「グリーンパイル®」、「ロングパイル®」硝酸系
高度化成肥料「燐硝安加里®」、高性能育苗培土
「与作®」など機能性を重視した肥料・農業資材
をお届けさせて頂いております。又、昨年末には、
「あさひブリケット®」も新規に上市致しました。
皆様方には、今後とも一層のご指導ご鞭撻をお願
い申し上げます。

本誌「農業と科学」も内容の充実を更に図って
参りますので、本年も益々のご愛読を賜りますよ
うにお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせて頂
きます。